

IXIL ナーテラス

1500形(特殊地域用)

600形 2.5間,7・8・9・12尺(一般地域用)



取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

■設置条件

- 母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に、設置してください。
- 本製品は木造住宅の2階以下に取付ける設計となっております。3階以上の高所には取付けないでください。
- それぞれの地域に対応したテラスをお選びください。
一般地域用600形→積雪20cm以下
特殊地域用1500形→積雪50cm以下
- 柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- 他社商品(バルコニーなど)と組合せて設置しないでください。
- 風の強い場所では補強プレスで製品を補強してください。
- 崖っぴちなどの高低差のある場所には設置しないでください。
- 風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。

■躯体への固定

- 躯体に取付けずに、独立で取付けることは絶対にしないでください。
- タッピンねじは柱・間柱・胴差しなどの構造材に必ず止めてください。躯体位置が分からない場合、および躯体の強度が保持できない場合は取付けないでください。
- 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は施主さまと打合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから、絶対に行わないでください。
- タッピンねじの下穴は、指定された下穴より太いドリルを使用しないでください。

■部材の固定

- 組立てねじ・ボルトは、必ず指定のものを使用してください。又、使用中ゆるまめように締付けてください。

■取付け時の足場について

- 取付け時は必ず足場を設け、転落などの危険がないようにしてください。

▲ 注 意

■基礎について

- 基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- 基礎には海砂および急結材を使わないでください。柱が腐食するおそれがあります。
- 取付け前に調査を行い、地下埋設物(給排水管など)に影響をおよぼさないようにしてください。
- 寒冷地で凍上のおそれのある地域に取付ける場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 柱(屋根柱は除く)には水抜きできるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴(φ6)をあけてください。柱間の水が凍結膨張し柱が破損するおそれがあります。
- 養生期間は十分(4日～1週間以上)にとり、養生期間中は重たいものをのせたり、振動させたりしないようご指示ください。

■絶縁処理について

- アルミ形材が垂鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

■パネルについて

- 屋根パネルは当社指定の製品をご使用ください。

■取付け上について

- みだりに改造・変更をしないでください。
- 当社指定の付属品以外は取付けないでください。
- 取付けは専門業者が行なってください。

※漏水のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- シーリング指定個所には、必ずコーキング材を充てんしてください。

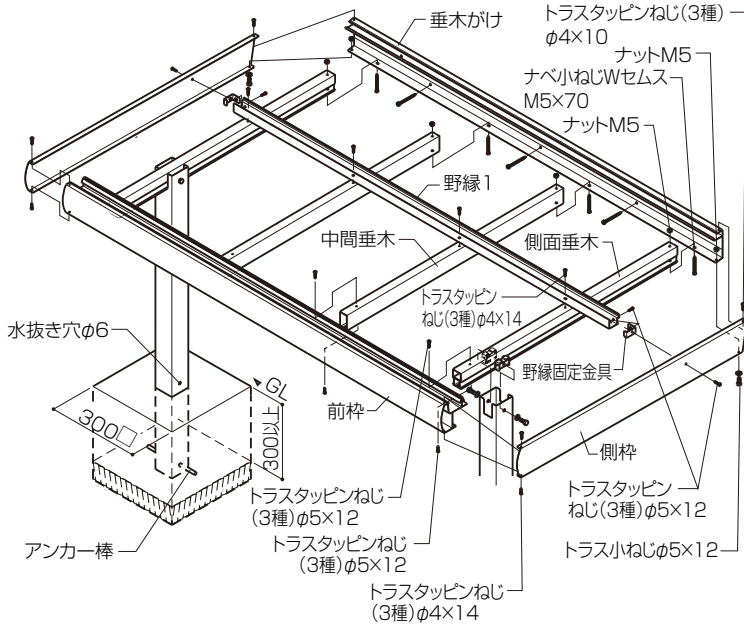
■取付け上のお願い

- 通常の取扱いによって生じた不具合については、原則として当社の責任において交換・補修しますが、下記の場合は責任を負いかねますのでご注意ください。
 - ・当社が表示した「■取付けされる方へのお願い」を守っていなかった場合。
 - ・当社が表示した以上の性能を必要とする用途や個所(地域)に製品を設置した場合。
 - ・製品に他の構成材を加えたり、又は規格外に加工して製品の形態を変えている場合。
 - ・製品の構成材であっても、当社の供給責任範囲以外のもの(波板など)。
 - ・当社以外のバルコニーと組合わせた場合。
- 水平・垂直は水準器などで正確に出してください。

■取付け順序

■600形(一般地域用)

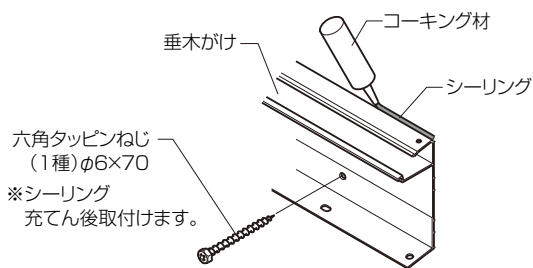
※バルコニー接続の場合は前枠・野縁・垂木がけに加工が発生します。
「テラス柱バルコニー接続」取付説明書の指示にしたがってください。



※土など基礎に水がたまりやすい場合は、基礎自体に水こぼ配をつけてください。

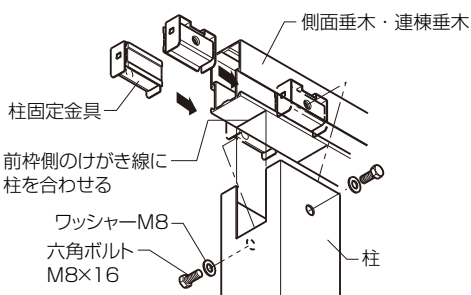
■1 垂木がけの取付け

- ①垂木がけを躯体に取付ける際、必ず水準器で水平を出してください。
※垂木がけは必ず、躯体の柱・間柱などの構造材に取付けてください。
※躯体が、経年変化などで、損傷が著しい場合は、施主様と打合わせをし、必要に応じて補修してから取付けてください。(関西間・九州、四国間の場合)
- 関西間・九州、四国間の場合、垂木がけに、躯体取付け用の穴があいていません。
柱および間柱位置に合わせてφ6.5の躯体取付け用穴をあけてください。



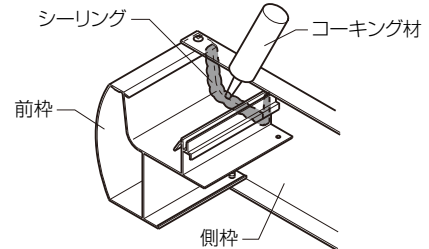
■2 側面垂木・主柱、連棟垂木・中間柱の取付け

- ①側面垂木・連棟垂木(連結タイプの場合のみ)の溝部に柱固定金具を差込み、側面垂木のけがき線を柱に合わせて固定します。
- ②固定した側面垂木と柱を立て起こし、垂木がけに固定します。

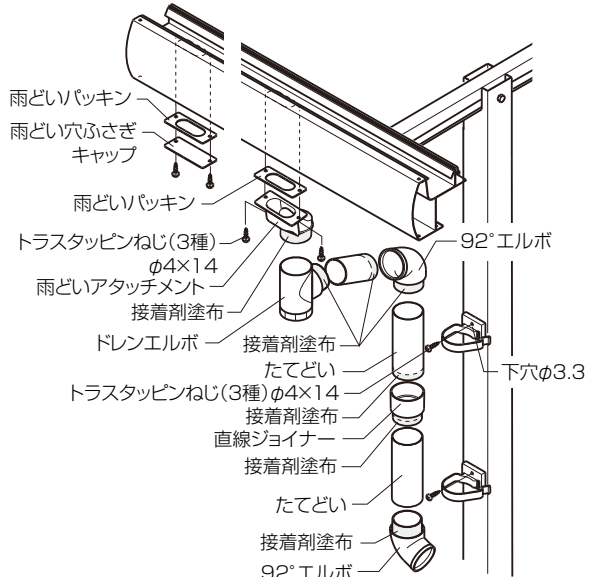


■3 前枠・中間垂木・野縁・側枠の取付け

- ①側面垂木に前枠を取付けます。
- ②垂木がけと、前枠に、中間垂木を取付けます。
- ③屋根部の対角寸法を測定してください。
野縁に、野縁固定金具を取付けた後、前枠・野縁・垂木がけと側枠を固定します。
※前枠、側枠ジョイント部は、シーリングしてください。

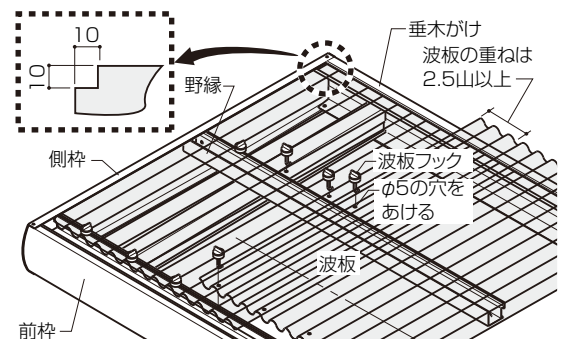


■4 雨どいの取付け



■5 波板の取付け

- ※波板1枚につき、フックは4列止めにしてください。
●テラス両端の波板の垂木がけコーナー部は、下の寸法で切欠いてください。



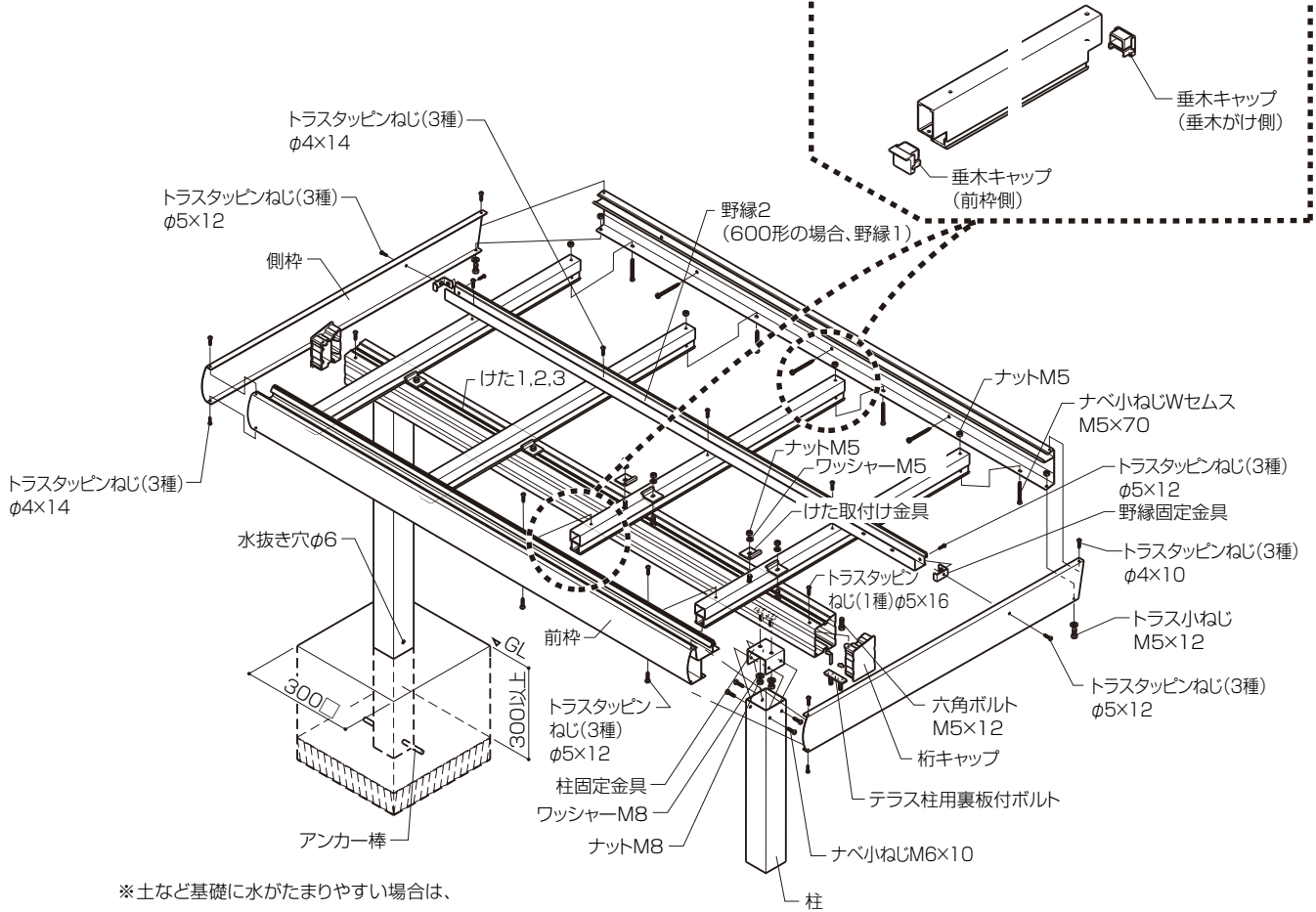
■6 柱基礎

- 柱埋込み穴をコンクリート(又は、モルタル)で埋めてください。
※地下埋設物(給水管など)に影響をおよぼさないようご注意ください。
※コンクリート(又はモルタル)には急結材は絶対に使用しないでください。
※海砂はアルミが腐食するおそれがありますので使用しないでください。

■ 1500形(特殊地域用)

600形・間口2.5間・出幅7・8・9・12尺

出幅7・8・9・12尺の場合

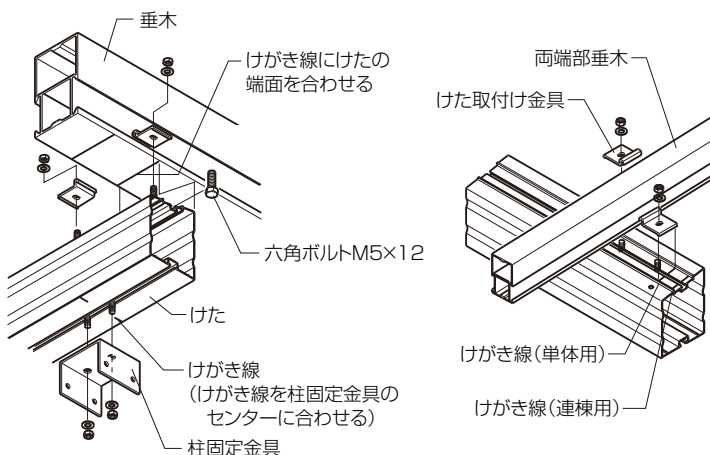


※土など基礎に水がたまりやすい場合は、基礎自体に水こぼ配をつけてください。

1346は600形(一般地域用)を参照

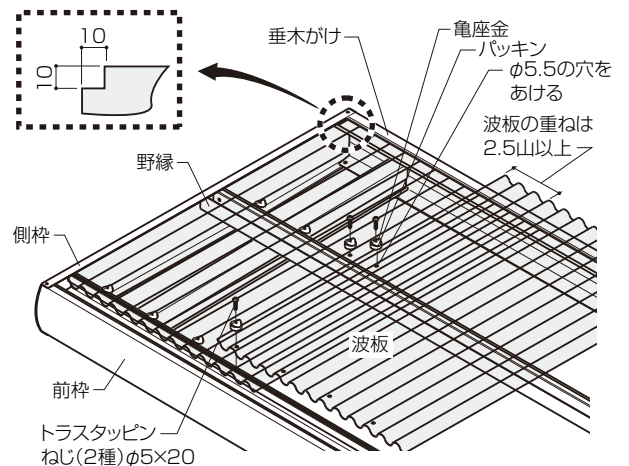
2 柱、けた、垂木の取付け

- けた、下部のボルトホールに、六角ボルトM8×16を差込みます。次に、けたのけがき線に合わせて、柱固定金具を取付け、柱と柱を固定します。
 - けた上部のボルトホールに六角ボルトM5×12を差込みます。次に、けた取付け金具で、垂木とけたを固定します。この時、垂木ケガキ線と、けた位置およびけたけがき線と両端垂木用のけた取付け金具端部を合わせてください。
- ※出幅7・8・9・12尺の場合は、垂木の前枠側と垂木がけ側に垂木キャップを取付けてください。



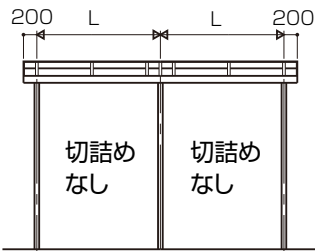
5 波板の取付け

- ※600型・間口2.5間・出幅9尺、12尺については、波板フックで固定してください。
- ※波板1枚につき、フックは4列止めにしてください。
- テラス両端の波板の垂木がけコーナー部は、下の寸法で切欠いてください。



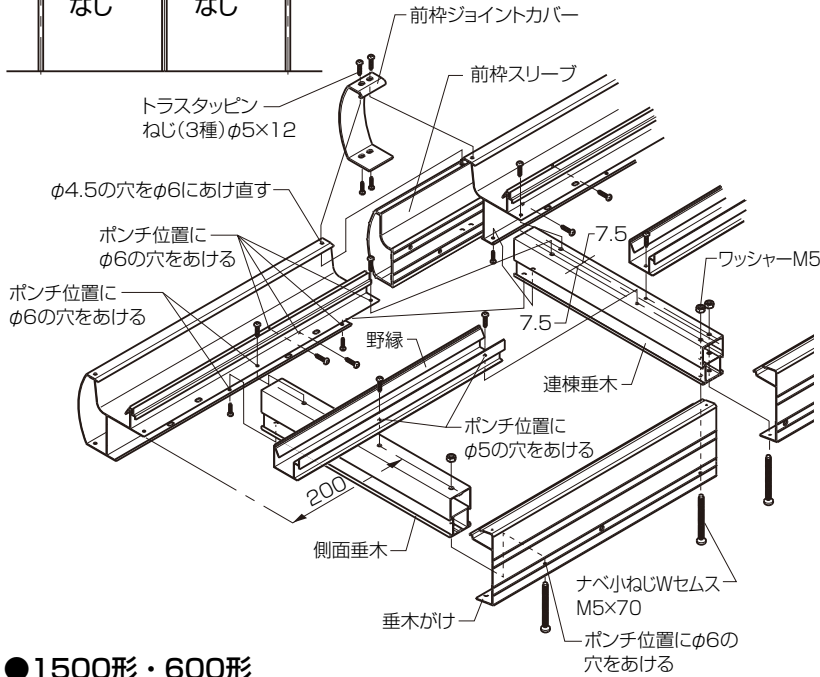
■ 連結タイプの場合

● 2連結タイプの場合



● 600形

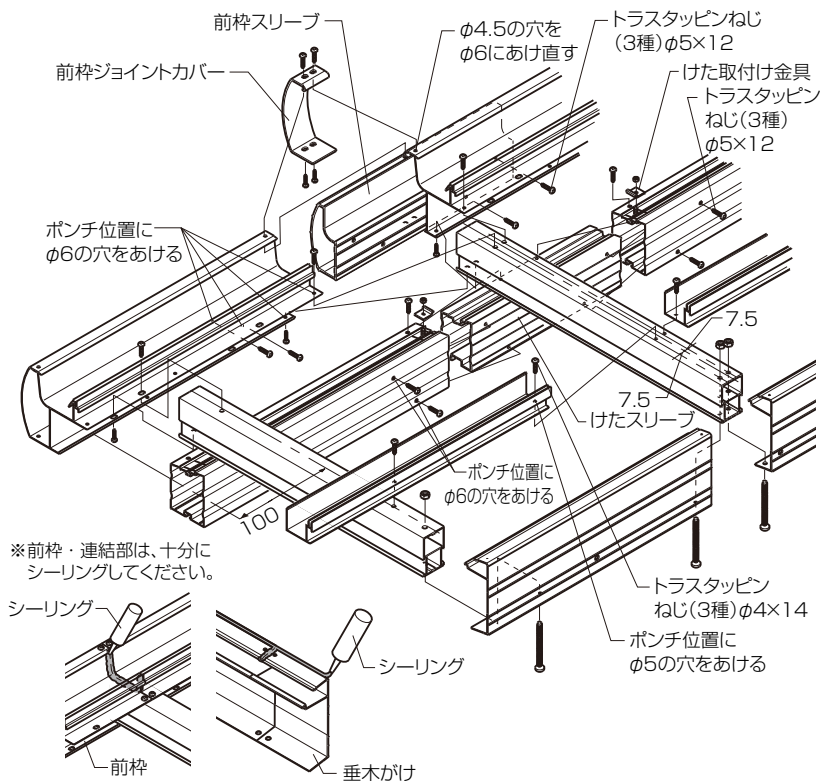
- 2連結の場合、部材の切断は不要です。
- 長さ部材(前枠・野縁・垂木がけ)の両端のポンチ部分を穴加工して組立てます。
- その他の組立てについては標準タイプと同様に行ってください。



● 1500形・600形

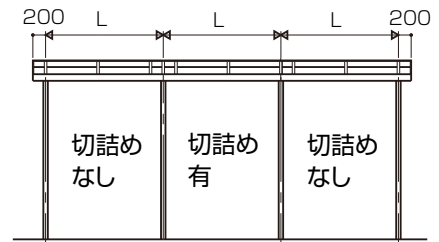
(間口2.5間、出幅7・8・9・12尺)

- 2連結の場合、部材の切断は不要です。
- 長さ部材(前枠・野縁・垂木がけ)の連棟部のポンチ部分を穴加工して組立てます。
- その他の組立てについては標準タイプと同様に行ってください。

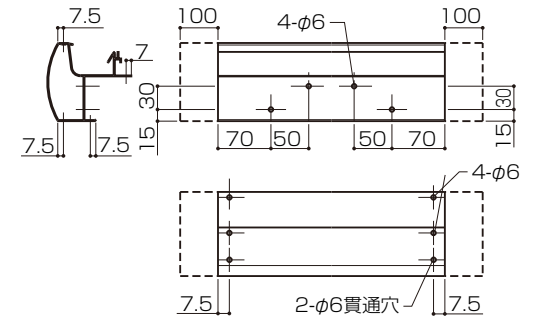


● 3連結タイプの場合

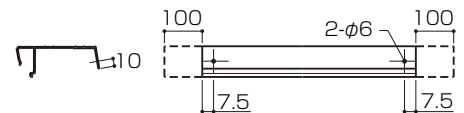
- 3連結の場合、中間連結の長さ部材(前枠、垂木がけ、野縁)の両端を100mm、けたは77mm切断します。次に、両端部に下図のように加工を行ってください。
- 連結部分の組立ては、2連結と同様に行ってください。



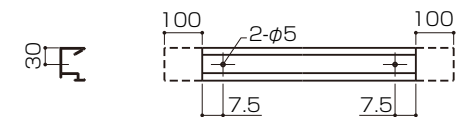
〈前枠〉



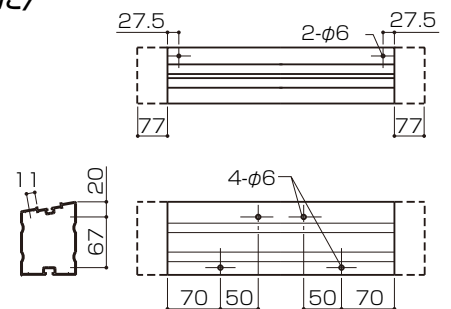
〈垂木がけ〉



〈野縁〉

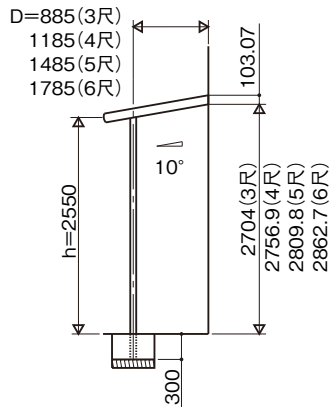


〈けた〉

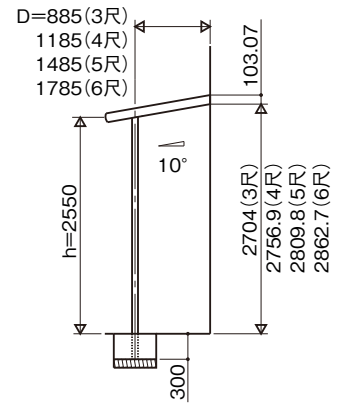


■参考納まり図

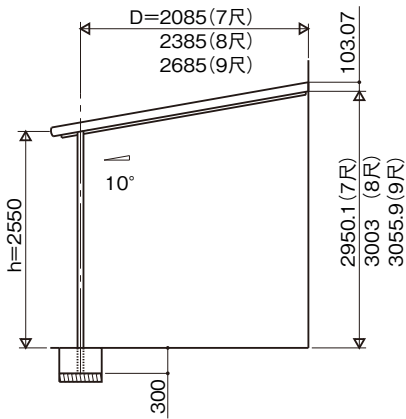
●600型
3~6尺
(テラス)



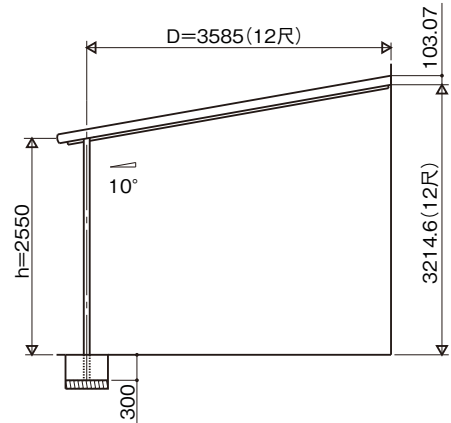
●600型
2.5間、
1500型
3~6尺
(テラス)



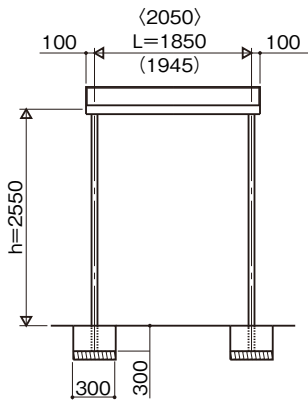
●600型
7~9尺
(テラス)



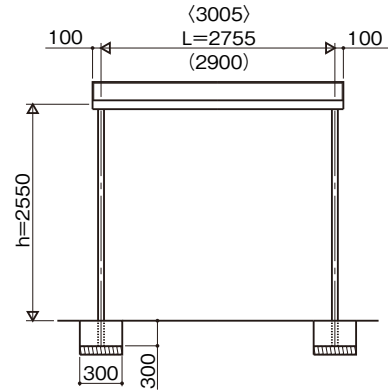
●600型
12尺
(テラス)



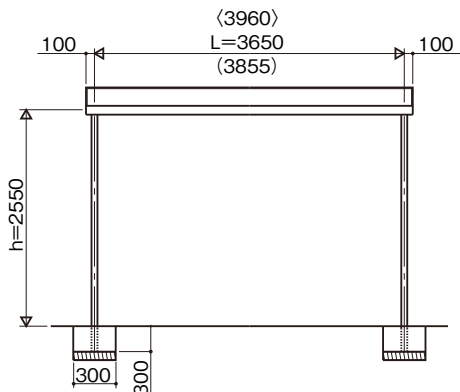
●1.0間



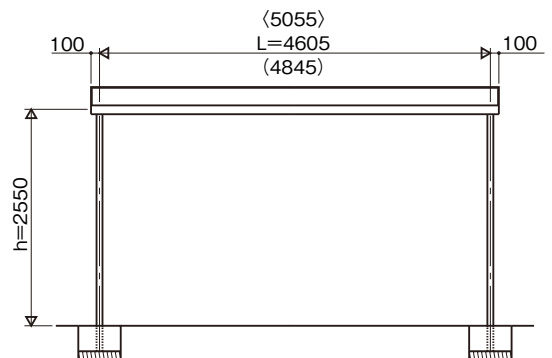
●1.5間



●2.0間

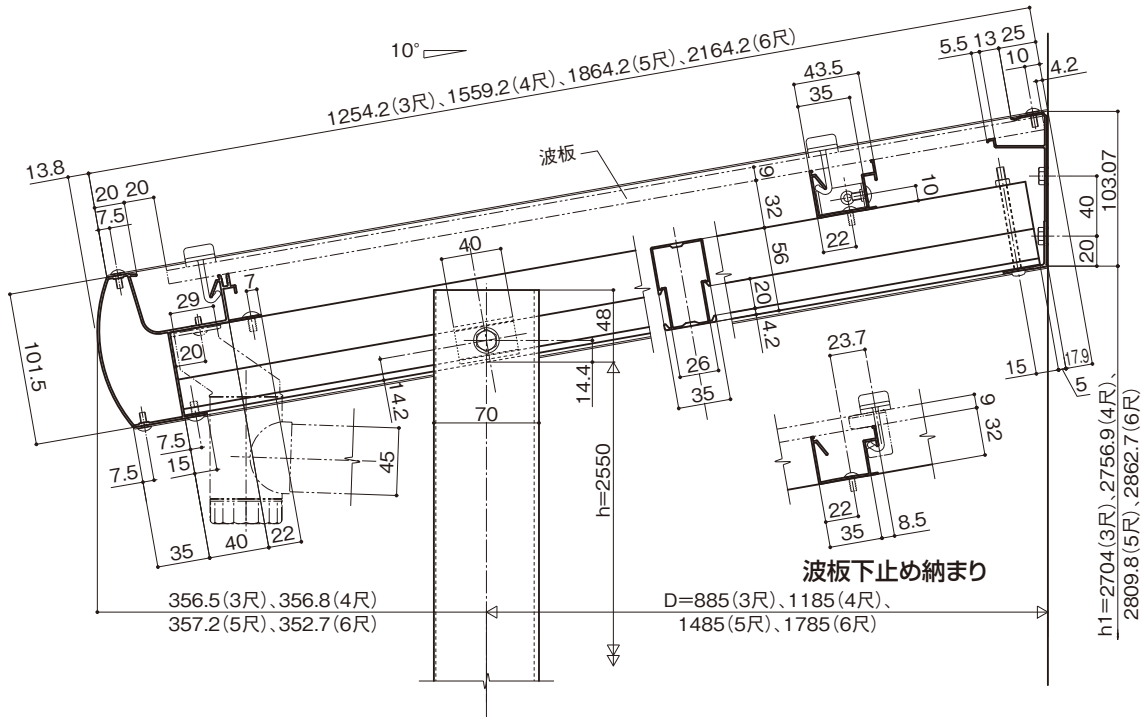


●2.5間

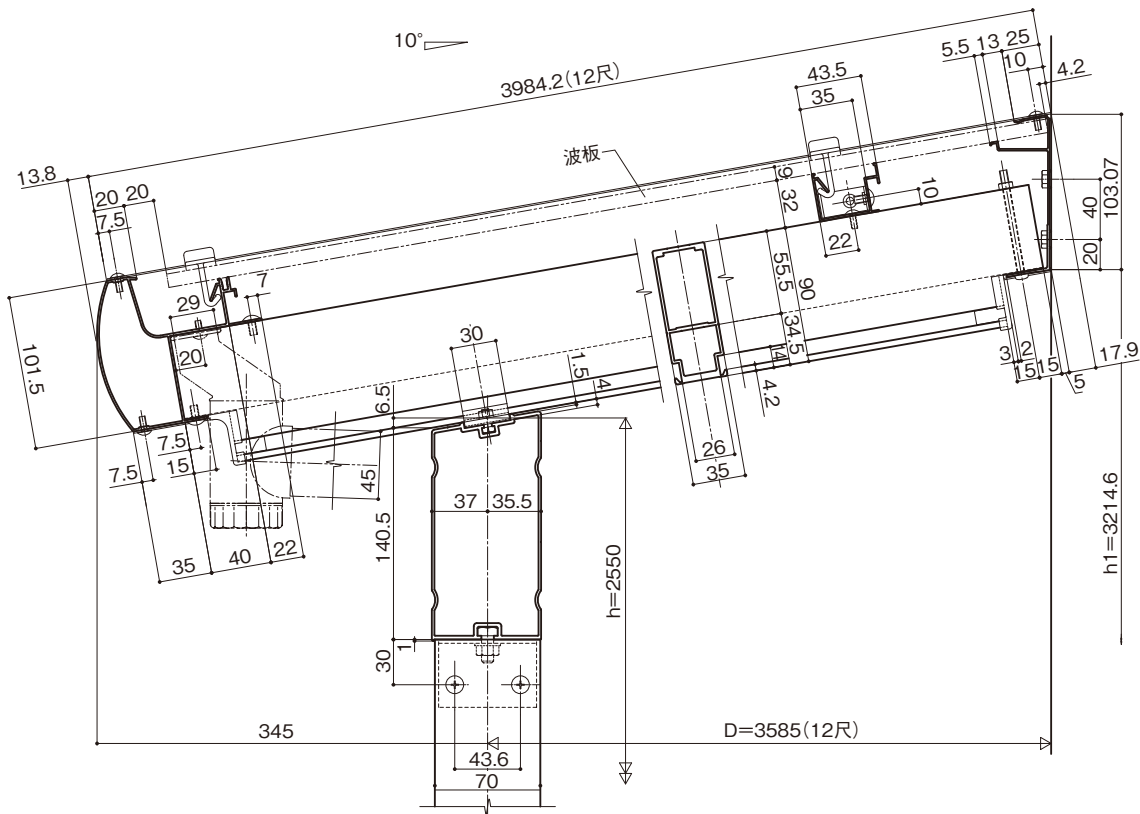


※間口2.5間は600形のみ、出幅は6尺までです。
※〈 〉内は、関西間、()内は、九州・四国間

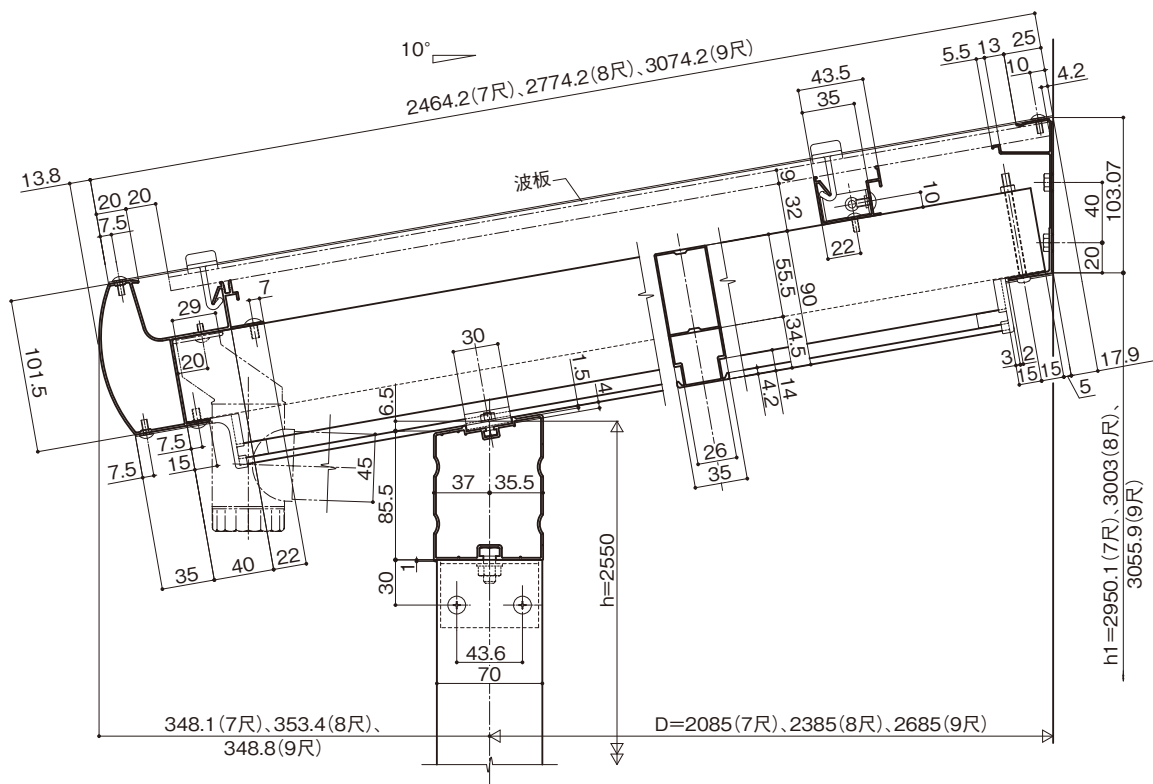
●600形(3~6尺)縦断面図



●600形(12尺)縦断面図



●600形(7~9尺)縦断面図



●1500形(3~6尺)縦断面図

